

令和6年度 昭島市立東小学校経営方針

校長 鈴木 正樹

学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 健康で明るい子

確かな学力

- 基礎学力の定着
- 思考力・表現力の伸長
- 学力の二極化の解消
- 教師の授業力の向上
- タブレット端末の効果的な活用
- 読書活動の充実
- 夏季休業中の補習の充実
- 日本の伝統・文化育成

豊かな人間性

- 人権教育の推進
- 特別支援教育の充実
- 体験活動・異年齢交流の充実
- いじめ・不登校ゼロ
- 学級満足度調査の年2回実施
- 東小のきまりの遵守
- 気持ちのよい挨拶の励行
- 丁寧な言葉遣いの励行

健康・体力

- 体育・健康指導の充実
- オリンピック・パラリンピック教育後のレガシー教育への取組
- 運動の機会の確保と外遊びの励行
- 体力向上・食育の推進
- 学校保健委員会の開催

「たくましい東っ子」の育成

＜確かな学力＞ 基礎・基本となる学力の定着、思考力・表現力の伸長、教師の授業力の向上

- (1) 学習指導要領に基づき、地域や学校の実態、児童の心身の発達段階や特性に応じた教育の推進
「生きる力」を育むことを目指し、基礎学力の定着・向上、家庭や地域と協力した基本的な学習習慣の育成
- (2) 校内研究の特別活動の研究を生かした児童の思考力・表現力が発揮できる授業の工夫
- (3) 学力調査の結果を踏まえた学力の二極化の解消→授業改善推進プラン、算数科の習熟度別指導(全学年)、夏季休業中の補習
- (4) 教師の授業力向上(各教科の授業における東小スタンダードの実施)、校内研究会、OJTの充実、教員間での授業参観
- (5) タブレット端末を効果的に活用した授業の実施、学校図書館の有効利用、朝読書・読書週間への取組
- (6) 「日本の伝統・文化の良さを発信する能力・態度の育成」に向けた指導の充実

＜豊かな人間性＞ 体験活動・異年齢交流活動の充実による人権教育の推進

- (1) 「特別の教科 道徳」を指導の要とした人権教育の推進
- (2) 特別支援教室「大空」を生かした特別支援教育の推進、インクルーシブ教育の推進
ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくり・環境づくり
- (3) 地域人材や地域資源を生かした体験的な活動の計画的・系統的な実施、縦割り班活動や近隣の幼稚園・保育園・中学校・高等学校等との異年齢交流の充実
- (4) アンケート等の取組を生かした、いじめは絶対に許さない指導の徹底(いじめ・不登校ゼロ)
特別支援教育コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実
児童一人一人の状況に応じた支援の実施、校内委員会を中心とした悩みや相談の即時対応・即時解決
- (5) 児童理解に基づく安全に安心して学習・活動できる学級経営の充実(年2回実施の学級満足度調査の活用)
- (6) 「東小のきまり」の徹底による生活指導の充実、「あいさつ運動」や全校朝会時での気持ちのよい挨拶や丁寧な言葉遣いへの励行や称賛

＜健康・体力＞ 健やかな心と体の育成

- (1) 児童の発達段階に考慮し、教育活動全体を見通した体育・健康に関する指導の充実
- (2) オリンピック・パラリンピック後のレガシー教育の推進と体育学習の展開への工夫(元気アップガイドブックの活用)
- (3) 週1回の昼休みの「東ンピック」の開催による日常的に運動に親しむ機会の確保と休み時間の外遊びの励行による健康な児童の育成
- (4) 体力テストの結果を踏まえたバランスのとれた体力の増進への取組、運動集会の計画的な実施による全校での体力向上への取組
ランチルームの活用、主任栄養教諭・学校給食共同調理場と連携した食育の推進(残菜ゼロ)
- (5) 学校保健委員会の開催(学校医との連携・家庭への啓発・グッドモーニング60分への取組)